

図書館と本のエトセトラ

et cetera

図書館や本をめぐる話題から毎回、テーマを決め、さまざまな本・作品を取り上げます。今回も前回に引き続き、図書館のなかで起こる「ドラマ」を描いた作品を紹介します。

第3回
図書館のなかの
ドラマ



■村上春樹著
『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』
上・下

新潮文庫、2010年4月(原著1985年)
現代の日本を舞台に冒険活劇が繰り広げられる「ハードボイルド・ワンダーランド」の世界。幻想的な街で静謐な心理劇が展開される「世界の終り」の世界。「世界の終り」の主人公である「僕」は、図書館の中で、一角獣の頭骨に記録された古い夢を読む仕事に携わっています。この異なる2つの世界は、いったいどのように繋がるのか？新海誠にも大きな影響を与えている村上春樹の初期を代表する傑作。



■ミシェル・ヌードセン作 ケビン・ホークス絵
『とじょかんライオン』

福本友美子訳、岩崎書店、2007年4月
ある日、図書館におおきなライオンがやってきました。図書館の決まりを守れば来てもいいと図書館長は言い、その日からライオンに図書館のお仕事を手伝ってもらうことになりました。本にたまったホコリを掃除したり、取りたい本に手が届かないこともたちを背中に乗せてあげたり……。そんなある日、ライオンが図書館の決まりを破ってしまう事件が起こります。時には決まりを守ることもより大事なことがある、ということをやさしく教えてくれる、心温まるストーリー。



■新海誠著『小説 君の名は。』

角川文庫、2016年6月
夢を通じてシンクロし、運命に導かれるように、互いの距離を縮めていく瀧と三葉。いつしか芽生えた三葉に対する感情が、歴史を変えたいと思うほどの強い意志となり、彗星落下災害の真相を突き止めるべく図書館に向かった瀧。そこで向き合う残酷な現実とはいったい……。糸守町を守るために奮闘する、タイムフライヤーとなった二人のすれ違う記憶が切なくて悲しい。果たして、彼らは現実世界で巡り合うことができるのか。感動のラストに立ち会ってみては……!?



■ジェリー・スピネリ作
『青い図書館カード』

菊島伊久栄訳、偕成社、1999年10月
青い図書館カードにまつわる4つの物語を収録した短編集です。友だちと悪さばかりしている男の子や、ひとりぼっちの女の子など、それぞれの問題を抱えた子どもたちが、青い図書館カードのもたらした本や人との出会いによって1つの転機を迎えるストーリーとなっています。ひとつの出会いが与える影響力の大きさを実感できる物語です。

こもれび

KOMOREBI
MIYAGI UNIVERSITY OF
EDUCATION LIBRARY NEWS

No.130
2017.3.11 発行

特集

もっと 図鑑と事典を 利用しよう!

CONTENTS

- 02 図書館インフォメーション
- 04 特集 もっと図鑑と事典を利用しよう!
- 08 歴史のなかの教科書 図画工作科のあゆみ
- 10 自著を語る
- 11 学生の読書室
- 12 子ムエの本棚
世界に1つだけのオリジナル紙芝居をつくろう!
- 16 図書館と本のエトセトラ



平成29年度図書館開館カレンダー

通常開館 月曜日～金曜日 9:00～22:00 開館 土曜日・日曜日 10:00～17:00
開館 休業期間の月曜日～金曜日 9:00～17:00 休館日 国民の祝日・本学創立記念日(10/18)など

平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	休館日
月火水木金土日 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	月火水木金土日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月火水木金土日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	月火水木金土日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	月火水木金土日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月火水木金土日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	4月29日 昭和の日 5月3日 憲法記念日 5月4日 みどりの日 5月5日 こどもの日 7月22日 宮城県、仙台市(1日)教員採用試験 8月11日 山の日 9月18日 敬老の日 9月23日 秋分の日

※変更がある場合は、図書館ホームページ、館内掲示などでお知らせいたします。

編集後記

子ムエの本棚では、第7回スパイラルセッション「世界に1つだけのオリジナル紙芝居を作ろう!」を特集として取り上げました。記事を見て手作り紙芝居に興味を持った方は、図書館にときわひろみ先生の著書「手づくり紙芝居講座」がありますので、ぜひ手に取ってください。本誌の内容や宮城教育大学附属図書館の活動・運営に関するご意見・ご要望がありましたら、図書館カウンターまたは下記の連絡先までお寄せください。



このインフレットは環境に配慮した「水なし印刷」により印刷しております。



環境にやさしい植物油インキ「VEGETABLE OIL INK」で印刷しております。



図書館 Library Information

インフォメーション



スパイラル・セッションを開催しました

図書館では、読書につながる様々な経験・体験の場として「スパイラル・セッション」を開催しています。平成28年度の後期には、次のセッションを行いました。

今後も引き続きスパイラル・セッションを実施します。「こんな話を聞きたい!」という要望があれば、ぜひ図書館カウンターまでお寄せください。

月日	タイトル	講師など
8月4日	電子黒板を操作してみよう!	学生サークルSTEP
10月20日	世界に1つだけのオリジナル紙芝居を作ろう!(1) シナリオを考えよう ⇒今号の「子ムエの本棚」では、ときわ先生の講義を紹介しています!	紙芝居作家 ときわひろみ氏
11月10日	世界に1つだけのオリジナル紙芝居を作ろう!(2) 絵を描こう	//
11月15・22・29日	海外留生活体験報告会	留学やインターンシップなどを経験した本学学生5名
11月25日	英語の多読を楽しもう!(2)	仙台高等専門学校広瀬キャンパス 久保田佳克氏
12月21日	クリスマスカードワークショップ	水谷研究室+情報・ものづくりコース2年有志のみなさん
1月17日	学校図書館活用データベースで伝えたいこと	東京学芸大附属小金井小学校図書館 司書 中山美由紀氏



「英語の多読を楽しもう!」



「学校図書館活用データベースで伝えたいこと」

展示会「歴史のなかの教科書～美術～ 美感は時代を映し出す」 を開催しました

平成28年8月1日から31日まで、教科書展示会を開催しました。明治時代以降の美術教科書の歴史を取り上げ、日本人の「美感」の変遷を考える機会となりました。展示会の概要については、今号の連載記事「歴史のなかの教科書 シリーズ第8回 図画工作科のあゆみ」のなかで、本学名誉教授・立原慶一先生が紹介しています。



展示会場の様子

新入生の皆さんへ 図書館新サービス「学修サポーター」と 『エール! : レポート作成の初歩』刊行

図書館では新サービス「学修サポーター」を試行しています。このサービスでは、「サポーター」の先輩が、図書館の効果的な利用法や、大学での勉強の仕方などについて個別に支援します。資料の調べ方、図書館の使い方、レポートのまとめ方、授業案の作成のヒントなどについて、相談することができます。図書館カウンター隣りで活動していますので、一人で悩む前に、お気軽に声をかけてください。

また3月末には『エール! : レポート作成の初歩』を刊行します。この冊子は、主に新入生の皆さんに向けて、レポート作成の基本を簡潔にまとめたものです。新入生全員に配布しますので、大学ではじめてレポートを書く前に、ぜひ参考にしてください!



平成28年度「学修サポーター」活動の様子

図書館で防災を学ぼう!

平成29年3月11日で東日本大震災から6年が経過しました。皆さんは、防災意識を持っていますか? 図書館では、復興教育学などと連携し、防災関連の本を揃えるとともに、緊急時用としてレスキュー・ベンチや、非常用品を収納したツールなどを整備しています。図書館であらためて防災を学びましょう!



復興教育学の本棚

1階展示ホール前で、防災関連の本を展示しています。



レスキュー・ベンチ

緊急時に担架として利用できます。図書館入口AED隣りにあります。



収納ツール

折りたたみ式のヘルメットや携行の救急用品、ブランケットなどが入っています。1階ホールと2階閲覧室にあります。

もっと図鑑と事典を利用しよう！

図鑑と事典は、知識の宝庫。図鑑と事典からは、インターネットでは得られない、体系的な知識や情報を得ることができます。また、図鑑と事典は、調べ学習を実践するうえでも絶好の参考書。今回の特集では、国語学・環境教育・理学を専門とする3人の先生方に、大学生が読んで面白く、そして知っておくと役に立つ図鑑と事典をご紹介します。

辞典・事典、図鑑——奥深い世界への道標



初等教育教員養成課程子ども文化コース・附属図書館長 遠藤 仁 (国語学)

皆さんは紙の辞書をお持ちだろうか。スマホで検索という人も多いだろうし、電子辞書の普及で重い辞書を抱える学生にはとんとお目にかからなくなった。電子辞書は一度にたくさんの辞書を携帯できるうえ、検索速度が速く、音声も確認できるなどメリットは大きい。一方、紙の辞書は検索語にたどり着くまで時間はかかっても、目に入る関連情報が圧倒的に多いことは見過ごせない長所だろう。

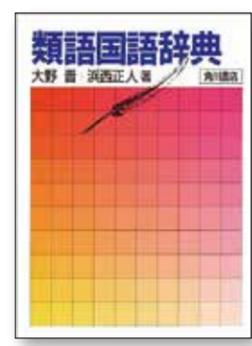
私は仕事から国語辞書をよく引くので、一風変わった国語辞書をご紹介します。

北原保雄編
『日本語逆引き辞典』 大修館書店、1990年11月



この辞書はなんと語末からの五十音順でことばが配列されている。すなわち「トロピカル、詠る、曲がる、身罷る、身軽、コミカル、リズムカル…」と通常の辞典では味わえない音の連続が楽しめたり、「泣き顔、寝惚け顔、横顔、アサガオ、地顔、案じ顔…」など語構成要素を同じくする類語を見つけやすかったりする。そこには普通の辞書とはまったく異なることばの宇宙が広がっている。

大野晋 浜西正人
『類語国語辞典』 角川書店、1985年1月



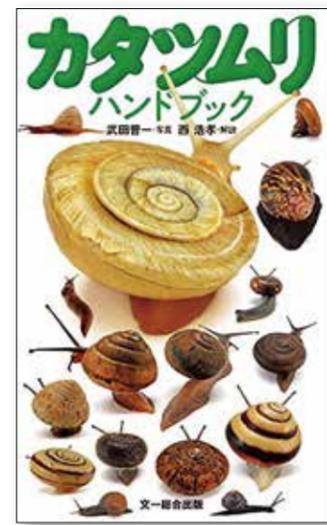
これは珍しい意味分類体の辞書で、文章を書く時に重宝する。なんとなく言いたいことばを五十音順索引で引くと、その類語群にたどり着き、たくさんの候補のなかから文脈に合うことばを選択できる。類義語群は、さしずめことばの宇宙にきらめく星座といえるだろう。

辞書は「引く」ものだが、時間が許せばぜひ「読む」ことをお勧めしたい。『新明解国語辞典』の語釈がユニークで楽しいことはよく知られているが、私たちが経験的に学ぶ基本語彙・基礎語彙の語釈は、改めて吟味すると面白い。分かりきったことなので「右・左」「男・女」「岩・石・砂」「東・西・南・北」などの項目を引くこともないが、この種のことばの説明は実は大変難しい。

以下ではそれぞれのご専門のお立場から、見ているだけで楽しい図鑑や事典をご紹介します。電子辞書が、あつという間に対象を引きつける精度の高い望遠鏡だとすれば、紙の辞典や図鑑は奥深い世界へと誘う道標かもしれない。ページをめくり自分の目で確かめながら逍遙すれば、思わぬ出会いもあるだろう。回り道には回り道なりのよさがあり、図鑑を片手にフィールドに出るのもいいだろう。

先生お薦めの図鑑・事典・辞典

◇お薦めの4冊 環境教育実践研究センター 溝田 浩二 (環境教育)



武田晋一写真 西浩孝解説
『カタツムリハンドブック』 文一総合出版 2015年7月

2003年に刊行された『虫こぶハンドブック』を皮切りに、文一総合出版では多種多様な生き物のハンドブックを世に送り出してきた。ラン、スミレ、サクラ、ドングリ、カエデ、山菜、豆、冬芽、木の実といった植物類、鳴く虫、イモムシ、繭、クワガタムシ、ハムシ、ハチ、アリといった昆虫類、鳥の羽、ワシ・タカ・ハヤブサ、カワセミ、カモメといった鳥類、モグラ、リス・ネズミ、コウモリといった哺乳類、クモ、エビ・ヤドカリ・カニ、貝、タナゴ、カエル、オタマジャクシ、果ては冬虫夏草や虹、妖怪に至るまで、そのジャンルは驚くほど多彩だ。

ハンドブックというだけあってどれも薄くて軽い。ポケットに忍ばせておけば、野山の散策が数倍楽しくなること請け合いだ。値段設定も1,500円前後と良心的。新作が発売されるたびに「えっ、この内容でこの値段!？」と驚嘆させられ、ついつい財布のひもが緩んでしまう。塵も積もれば山となる一気がついたら私の書棚にはシリーズ全巻(2016年10月の時点で76作)が揃い、トータルで10万円もの出費を重ねていた……(泣)

『カタツムリハンドブック』は本シリーズの中でもNo.1と言ってよいほど秀逸な出来映え。147種ものカタツムリが生き生きと美しく図示され、殻と軟体部との「絵合わせ」だけで種名がわかるようになっている。著者のカタツムリへの愛情とこだわりがにじみ出た渾身の一冊だ。

槐真史編 伊丹市昆虫館監修
『ポケット図鑑 日本の昆虫1400』 文一総合出版 2013年4~5月

子ども向けの昆虫図鑑でおススメのものはありませんか?—仕事柄、そんな質問を受けることが多い。そんなときに自信をもっておススメしているのが『ポケット図鑑 日本の昆虫1400(文一総合出版)』。1巻「チョウ・バッタ・セミ編」と2巻「トンボ・コウチュウ・ハチ編」からなり、それぞれ731種、668種が掲載されているポケット図鑑だ。この図鑑のすばらしいところは、1cm未満の小さな虫や出会う頻度の少ない虫は意図的に省き、身近な自然のなかで出会うチャンスが多い「フツーの虫」だけを厳選していること。日本には約3万種の昆虫が生息しているので、1,400という掲載種数はその5%にも満たない数字だ。しかし、掲載種を丁寧に絞り込んであるだけあって、私たちが日常に出会う昆虫はこの2冊でほぼカバーできる。

この図鑑では、生きた昆虫を白い背景のうえで撮影する「白バック」という手法が採用されている。逃げたり、跳ねたり、飛んだり、噛んだり、刺したりする昆虫たちを、生きたまま(しかも室内で)撮影するのだからその苦勞は想像にかたくない。そんな苦勞の甲斐あって、虫たちが今にも動き出しそうなダイナミックな迫力がある。イラストを用いた「絵解き検索」も充実しており、子どもから大人まで幅広い層を満足させてくれる図鑑となっている。コンパクト性と実用性を兼ね備えたこんな図鑑が1冊1,000円ぽっきりだなんて。今の時代を生きる昆虫少年・少女が心底うらやましい。





飯田朝子著 町田健監修
『数え方の辞典』

小学館
2004年4月

皆さんはチョウをどのように数えるだろうか？「1匹」？それとも「1羽」？チョウ愛好家たちはなんと「1頭」と数える。「大型の動物じゃあるまいし！」と思ったあなた、きっと理由が知りたいはずだ。

そんな“数え方”に関するささやかな疑問に、『数え方の辞典』はやさしく答えてくれる。著者は本書の目的を「失われつつある昔ながらの数え方を日本語の文化とし、これらの保存・維持を試みること」、そして、「近年使われるようになった新しい数え方を日本語の進化とし、その意味や由来、使い方のポイントを明確に記述すること」と述べる。そんな本、面白くないわけがない。

日本語には驚くほどさまざまな数え方が存在する。例えば、鎧は「1領」、兜は「1劔(はね)」、袴は「1腰」、位牌は「1柱」、仏壇は「1基」、地図は「1舗」、和歌は「1首」、三味線は「1棹」、バイオリンは「1挺」、臼は「1据え」などなど。日本人でも知らない数え方ばかりで、外国人留学生が助数詞を敬遠する気持ちもよくわかる。私もつい面倒くさくなって、何でもかんでも「1個」「1つ」といった便利な表現で済ませようとする。しかし、著者は「数え方は、話し手が数える対象をどのように捉えているかを映し出す“鏡”のような役割がある」と語り、限られた種類の助数詞だけで数えることは「大切な“鏡”を曇らせてしまうことになる」と警鐘を鳴らす。

日本のことば表現の豊かな世界にふれたい人は、ぜひ手元においてほしい1冊だ。



◇お薦めの6冊

理科教育講座 小林 恭士(理学)

皆さんはこれまで「どのような図鑑」を手にとったことがあるでしょうか？ 皆さんはこれまで「どのような博物館／科学館」へ行ったことがあるでしょうか？

子どもと大人が一緒に楽しめる場所が博物館／科学館なら、子どもと大人が一緒に楽しめる本が「図鑑」なのかもしれません。

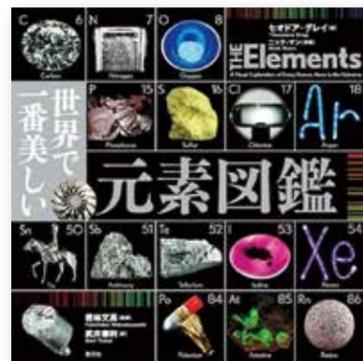
以下、おすすめの図鑑を皆さんと一緒に、順を追って見てゆきたいと思います。



アダム・ハート＝デイヴィス 日暮雅通訳 桂川潤装幀
『時間の図鑑』

悠書館、2012年9月

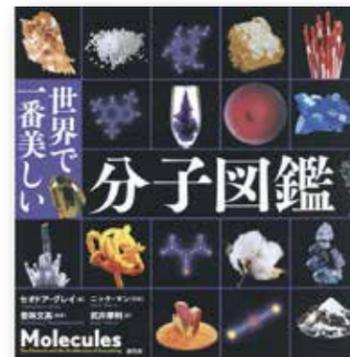
『時間の図鑑』。この言葉から皆さんは何を想像するでしょうか？ 時計のこと、物理学のこと、生き物のこと、哲学のこと、その他にも「時間」に関わるありとあらゆることが『時間の図鑑』では語られています。時間について語るときに私たちは何を語るべきなのか？ この図鑑ではそのようなヒントに出会うことができます。



セオドア・グレイ 若林文高監修 武井摩利訳
『世界で一番美しい元素図鑑』

創元社、2010年11月

昨年は、113番目の新元素として、ニホニウム(Nh)のことが話題に上りました。元素っていったい何でしょう？ それぞれの元素の特徴を説明することはできるのでしょうか？ 『世界で一番美しい元素図鑑』では数々の美しい写真と共に、元素を説明する美しい数々の文章にもお目にかかることができます。



セオドア・グレイ 若林文高監修 武井摩利訳
『世界で一番美しい分子図鑑』

創元社、2015年9月

理科はちょっと難しいな。そんな風を感じる時は、こちらの『世界で一番美しい分子図鑑』を先に覗いてみると良いかもしれません。社会科や家庭科好きな皆さんにはきっとワクワク胸躍る図鑑だと思います。その後、『世界で一番美しい元素図鑑』を読めば、理科がもっともっと好きになっちゃうかも。

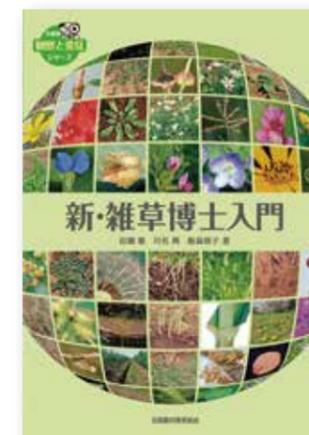


大野正男監修 山崎秀雄著
『昆虫博士入門』

全国農村教育協会、2014年7月

昆虫は地球上で最も繁栄した動物であるとも言われています。『昆虫博士入門』には、昆虫学の入門編として、昆虫の体の構造、昆虫のくらしが丁寧に収められています。摩訶不思議(まかふしぎ)な昆虫ワールドをくぐり抜け、第四章「昆虫博士をめざして」まで到着すれば、きみも今日から昆虫博士の仲間入り！

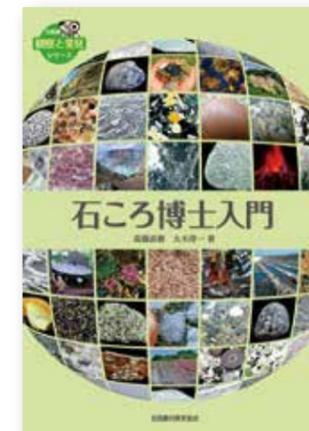
どうでしたか？ 大人と子どもが一緒に楽しめる図鑑の紹介でした。この他にも素敵な図鑑はたくさんあります。皆さんもそれぞれお気に入りの図鑑を見つけてみては？



岩瀬徹 川名興 飯島和子著
『新・雑草博士入門』

全国農村教育協会、2015年4月

世の中に「雑草」という名前の植物はありません。では雑草とは何か？ 雑草と呼ばれる植物たちの生きざまが、色とりどりの写真で紹介され、このたった一冊の本を読み終えたときに雑草博士になれる本。それが『新・雑草博士入門』です。2001年発行の『雑草博士入門』がバージョンアップして帰ってきました。



高橋直樹 大木淳一著
『石ころ博士入門』

全国農村教育協会、2015年5月

雑草という名前の植物が無いように、「石ころ」という名前の岩石はありません。それぞれの岩石にはそれぞれの成り立ちがあります。岩石には「地球のしるし」という歴史が刻まれています。観察と発見シリーズ「石ころ博士入門」を片手に、石ころをめぐる冒険に出かけてみましょう！

図画工作科のあゆみ

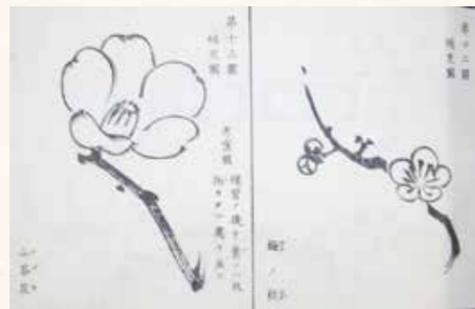
名誉教授 立原 慶一

1 はじめに

図画工作科で教育しようとした内容は、教科書の紙面に端的に表れている。それは、教育思想と教育実践の間に位置づけられるもので、歴史的な存在として確実性を放っている。そこから窺われる美感・味わいと、再現性・説明性は図工科教育が展開するための基軸である。今日まで、両者が絡み合って教科書が編纂されるとともに、それをめぐって興味深い教育論争が繰り広げられ、多様な教育実践がなされてきたが、その経緯に思いを馳せて頂きたい。

2 鉛筆画と毛筆画

図画において再現性・説明性を重視する考え方は、美感・情趣(趣きや味わい)を大切にしようとする見方と対立した。後者は流麗で伸びやかな感じの「毛筆画」を、前者は実用性を尊ぶ「鉛筆画」をよりどころとしたので、「鉛筆画毛筆画論争」と言われた。その後、1903(明治36)年に小学校において、図画教科書が国定となった折も、『鉛筆画毛筆画論争』と『毛筆画手本』が別々に刊行された。というのも当初、鉛筆画は再現性、説明性を発揮するからこそ教科内容とされた。しかし時が経ち明治30年代になると、鉛筆画の美感論が展開されるようになった。すなわちそれには「迫り来る感じ」「迫真性」「張り詰めた感じ」「空気感」が確かに存在するという理論である。



毛筆画お手本「サザンカ、梅の枝」
この絵では、日本文化を象徴する花の描き方をパターンとして教えようとした。



鉛筆画お手本「下駄」
再現性ばかりでなく、鉛筆のタッチによって、張り詰めた感じという美感が醸しだされている。

3 『新定画帖』の出現

「毛筆画」と「鉛筆画」の対立が一応の調停を見るには、新しい考え方が現れるまで待たなければならなかった。それは子どもの発達段階という概念の導入に他ならない。教科書には高等小学校の場合、深遠な詩情に溢れた写生画や、雅さの漂う静物画(花)が「参考作品」として、ま

た尋常小学校の場合では子どもの生活に身近な題材が「お手本」として盛り込まれた。ただし臨画のための「お手本」と、「参考作品」との区別が明確でなく、教師が教科書を活用する際に戸惑いを引き起こしたと言われている。



参考作品「冬枯れの景色」
平安時代の歌人西行の和歌にあるように、「心なき身にもあはれはしられけり鴨立つ沢の秋の夕暮れ」など、この絵は一定の情景に寂寥感が託される、和歌のスタイルで表されている。



お手本画「芍薬」
美女の形容として「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」といわれているくらい、あでやかさを醸しだしている。

4 『小学図画』

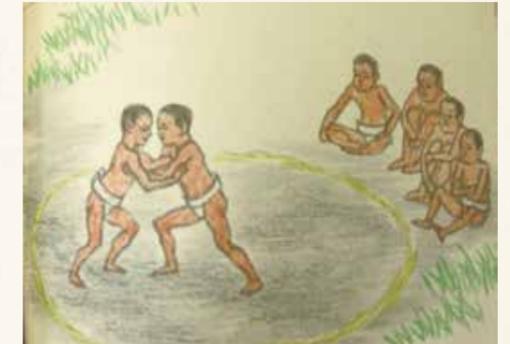
『尋常小学図画』では児童画の発達段階という視点が考慮された。しかし子どもの生活感情に配慮がなされても、基本的には客観描写が大切にされた。距離感や重量感などの物理的なリアリティを重視するあまり、写生に伴わされるべき寒暖や硬軟などの自然感情が忘却されがちで、やや空虚感漂う作例に覆われてしまった。



お手本画「並んでいる家」
この作品は、他の無味乾燥な作品と異なり、商店街の特徴をしっかりと捉えようとする、精力的な姿勢が感じ取れる。

5 『エノホン』

『エノホン』は第一に楽しく喜びに満ちたり、賑やかであったり、厳粛であったりなど学校生活をめぐる心情的題材が特徴的であり、第二に時局に配慮し戦時的題材も導入された。



お手本画「すもう」
相撲をとることを可能にする身体の仕組みがダイナミックに表現されるとともに、それを周りで眺める友人の静かなたずまいが対比されている。



お手本画「えんそく」
近景と中景、さらに遠景の三部構成からなり、二列に並んで進んでいる仕組みが、的確に描き出されている。同時に、遠足に興じる子どもたちの楽しく陽気な気分が伝わってくる。

6 『小学図画工作』

『小学図画工作』は戦後の1948(昭和23)年に発行された。そこに収められた児童画はパステルをダイナミックに扱った厚塗りの、表現主義(一人一様式的)風のものである。大胆な身体感覚や、がっしりとした触覚的物質感を発揮することで、子どもらしいと評価され多くの教師から支持された。それはこの教科書がよく売れる原因となった。掲載作品の性格がまた、昭和20、30年代における図画指導のあり方に大きな影響を与えて、戦後初期児童画の代表的な様式となった。

自著を語る

宮城教育大学の先生方に「自著」に込めた想いを語っていただきます。



技術教育講座 准教授
門田 和雄

『門田先生の3Dプリンタ入門』

講談社ブルーバックス、2015年10月

タイトルに自分の名前がついた本を出版するとは思いませんでしたが、これは前月に同新書から出版された『天野先生の青色LEDの世界』に続き、著者のタイトルへの思い入れが強いことを前面に出したいとの出版社の意向に応えたものです。ノーベル賞を受賞された天野先生に続いたことには大変恐縮しておりますが、本書ではこの間、3Dプリンタを通して私の身の回りに起きたエピソードを散りばめながら、近年注目されることが多い3Dプリンタについて、「何が作れるのか、どう使うのか」という視点からまとめました。「3Dプリンタにはどのような種類があるのか？出力する立体データはどのように作るのか？どのような材料を使うのか？どこに行けば使えるのか？自作もできるのだろうか？」などについて、初心者にもわかりやすく解説しています。

この本を出版した後、3Dプリンタはますます低価格化が進み、5万円程度で十分使える機種も登場しています。本書をテキストにして2016年9月に本学で開催された教員免許更新講習会「3Dプリンタの教育利用」は、一週間で満席となり好評でした。今後、教育現場にもさまざまな場面で導入されよう

としている3Dプリンタについて、はじめの一歩として手にとっていただくと嬉しいです。

ちなみにこの本の表紙で3Dプリンタから出力されている鳥はアイルランドの国鳥として知られるパフィンです。編集者が提示した案の中から適当に選んだのですが、後にアイルランドの知人にとっても喜んでもらえるというエピソードもありました。

『通説に挑む文学教材の研究』

中学篇・高校篇、鶴出版、2016年9月

文学研究の立場から文学教材に関する通説を検証し、より適切な読みを提案した本です。中学篇と高校篇、合わせて520ページを越えます。中学篇の第1部「文学研究と教材研究の架橋」では、森鷗外の「最後の一句」、芥川龍之介の「鼻」「蜘蛛の糸」、あまみきこ「ちいちゃんのかげおくり」、西鶴の「小判のゆくえ」などを取りあげ、戦後の読みの授業を主導した一読総合法や西郷竹彦氏の文芸研方式の限界と問題点を指摘しました。

第2部「茨木のり子研究から見る欠陥指導書」では、詩「わたしが一番きれいだったとき」を戦争や作家ルオーとの関連から考察しました。「ルオーのかかわりを、こんなに綿密に書いて下さった方はなく、そしてまた正鵠を射てくださいました。」という詩人からの手紙に励まされて、教師用指導書の誤読や盗用を告発しました。

高校篇では鷗外「舞姫」、堀辰雄「曠野」、太宰治「貧の意地」、中島敦「山月記」、井伏鱒二「山椒魚」、それに会田綱雄・黒田三郎らの現代詩の教材化を論じ、独自の読みを提示しました。

教材研究の基本は、教師自身が表現を的確に読み取ることです。それをなおざりにして、既成の理論や方式、教師用指導書を盲信してはなりません。「方法論至上主義を斬る——文学研究者にも衝撃を与える重い内容」という関口安義氏（都留文科大学名誉教授）の書評は、本書の本質をとらえています（『図書新聞』3279号、2016年11月19日）。

図書館にありますので、手にとってごらん下さい。



国語教育講座 特任教授
渡辺 善雄

学生の読書室

私が選ぶ
この一冊



黒柳徹子 著、講談社文庫、2015年8月（原著1981年）

『窓ぎわのトットちゃん』

初等教育教員養成課程
幼児教育コース3年 樋口 茉有

小学校の頃。家から学校まで30分。友達と遊びながら通っていた。歌やしりとり、鬼ごっこ。毎日いろんな30分だった。中でもよく盛り上がったのは、「こんな学校だったら」という想像のおしゃべりだった。

わたしの「こんな学校だったらいいな」は、この本に出てくる「トモ工学園」。あの頃の想像のように蛇口から100%オレンジが出てきたり、ふかふかの椅子で授業を受けられたりはしないけれど。電車の教室、決まっていない時間割、午後の散歩。自由で、明るくて、校長先生の愛に溢れているのだ。

大人になって、背も伸びて、いろいろなものが見えるようになった。けれど、子どもだからこそ見えていたものもあったと思う。

徹子さんが大人になって見えたものと、トットちゃんが見ていたもので描かれた61個のエピソード。

きっと、教育とか共生とか戦争とか、大人みたいなことを考えながら読むこともできる。

それから、どきりとしたり、くすりと笑ったり、うるっとしたり、子どもみたいにくすぐりかきながら読むこともできる。

そんな、「徹子の部屋」でお馴染みの黒柳徹子さんがトットちゃんだった頃のおはなしです。



ハルノ宵子 著、幻冬舎、2014年5月

『それでも猫は出かけていく』

初等教育教員養成課程
幼児教育コース3年 平間 聡子

あなたは「猫」に対してどんなイメージを抱いているでしょうか。かわいい？ 自由でマイペース？ 癒してくれる家族？——この本を読み進めていくと、だんだんと「猫」という生きものに対するイメージが変わっていきます。

著者の周りには、飼っている猫はもちろん、近所に住む個性豊かな野良猫や捨て猫たちが大勢集まります。この本はそんな猫たちとの暮らしをゆったりと描いたエッセイです。でも他の猫の本と違うのは、どの猫も病気が障害があったり、餌を食べなかったり……一筋縄ではいかない猫たちばかりなところ。人間の私から見ても、「なんて生きづらいのだろう……」と感じるような生活を送っています。それでも彼女たちは、とってもしたたかです。なわばりを見張り、鳥や蝶と戯れ、土と風のおいの中でのびのびと生きる。

自由で気分屋な猫たちですが、その内側には確かに各々の「自分らしさ」が輝いています。私は私でいいんだ、と勇気づけられるような一冊です。ぜひ手に取ってみてください。



原稿大募集

「こもれば」：宮城教育大学附属図書館ニュースは皆さんの投稿で成り立っています。特に「学生の読書室」は、学生の皆さんにお薦めの本を紹介してもらおうコーナーです。読後の感想や想いをこの場で表現してみましょう。下記の必要事項を記入の上、Eメールに文書を添付してお送りください。いつでも原稿募集中。ご投稿お待ちしております。

必要事項 コース・専攻、学年、お名前、連絡先
 紹介したい本のタイトルとその著者名、出版社、ISBN
 紹介文(400字程度)

提出方法 次のメールアドレスあてに提出してください。
toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp

注意事項 こもれば次号は7月発行です。 原稿は、こもれば編集委員会で選定の上、掲載します。
 採用された原稿は図書館ホームページにも掲載されます。

子ムエの本棚



子ムエの本棚は、児童書に関する話題をお届けするコーナーです。平成28年度のスパイラル・セッション「世界に1つだけのオリジナル紙芝居をつくろう!」では、紙芝居作家・ときわひろみ先生をお招きし、紙芝居の作り方についてお話いただきました。今回の「子ムエの本棚」では、その模様を紙上で再現いたします!

世界に1つだけのオリジナル紙芝居をつくろう!

講師紹介 ときわひろみ先生ってどんな人?

ときわ先生は「みやぎ紙芝居の会」を主宰されており、手づくり紙芝居講座の講師やブックトークの実践など、各地での講演を通して、本と暮らしをつなぐ活動に取り組まれています。主な作品には、紙芝居「おじいさんのできること」(第22回五山賞特別賞)「としょかんどろぼう」『きつねの盆おどり』(第53回五山賞脚本賞)『きつねのうらないや』『ほねほねマン』シリーズなどがあり、幅広い年齢層に親しまれています。

平成28年10月20日(木)、11月10日(木)の2回にわたり実施したスパイラル・セッションでは、紙芝居の実演も盛り込みながら、脚本作成と絵の描き方について、重点的に教えていただきました。



ときわひろみ先生

脚本(シナリオ)を考えよう!

1 目的・テーマを決める

はじめに、脚本を考える上で重要となる目的やテーマを決めていきます。

目的・テーマは、まず自分がおもしろいと思うことは何なのか、子どもたちが笑ってくれることは何なのかを踏まえて選びます。

次の項目を念頭に置き、それに沿ったストーリーづくりを心がけましょう。

“レ”チェックを入れながら順を追って整理していこう!!

- 誰のために 何のために
- 何を伝えたいか 紙芝居になりやすい素材
- 心理的な(見えない)描写など、紙芝居になりにくい素材は避ける
- 見ている人に伝えたいメッセージや子どもたちに伝わりやすく、笑ってくれることを意識する



2 ストーリーをつくる

日常生活の中の身の回りの出来事から、おもしろいと思ったことや困ったことなど、人に語り聞かせたい話をもとにしてつくります。少し大げさにするなど、普通では起こり得ないような展開にすると良いです。

また、より魅力的で分かりやすいストーリーにするために、いくつかのポイントがあります。

先生からのアドバイス

- 登場人物は少なめにし性格や見た目にも多様性を持たせる
- 起承転結を意識し、メリハリのあるストーリーにする(可能であればオチもつける)
- 重い内容の場合は、人から動物に置き換えてみる
- 伏線をつくる
- 誰にでも分かる普遍的な内容にする
- テーマについて図書館でことん調べる(紙芝居はフィクションだが嘘は書かない)

3 脚本をつくる

いよいよ、ストーリー展開に合わせて場面分けをしていきます。大まかなあらすじを考え、その内容を起承転結に振り分けます。8枚構成の場合は、6~7枚目でハッピーなどが起きて、8枚目でオチをつけるイメージです。

脚本構成の際は、次の点を意識して取りかかりましょう。

- セリフを中心に話を進める
- 一場面毎に1分程度で紙を抜くことを意識した文字数を決める
- 図書館で紙芝居を見て研究する

真の絵を描こう!

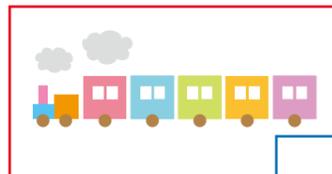
1 絵コンテ(略図)を描いてみよう

1枚の紙を場面分けした枚数分に折り、そこに脚本を合わせて、構図と流れを見ながら大まかな絵を描きます。

次の点に注意しましょう。

- はじめにキャラクターを決めると書きやすい(登場人物の髪型や服装は途中で変えない)
- 登場人物が2人以上になる場合は、体型、服の色、顔を変えると良い
- 画面に変化をつけるために、大きい絵、小さい絵を織り交ぜる(ロングとアップ)
- 背景に必要な物以外は書かない
- 「!」や「?」など、マンガのような記号は使わない(セリフの中で演じる)
- 紙を左から右に抜くことを意識して、絵の向きに注意する

前に進んでいるように見える



← 紙を抜く方向

バックしているように見える



← 紙を抜く方向

2 下書き・色塗り

絵コンテ(略図)をもとに本描きしていきます。

下書きには、2B~6Bの鉛筆を使用し、失敗した時に消しやすくするために、鉛筆はななめに持って描きます。下書きが完成したら、色を塗っていきます。おすすめの画材は、アクリルガッシュや水彩絵の具です。色鉛筆は薄くて見にくいので、クレヨン以外の紙に色が付いてしまうため不適切です。

- 紙の裏表に注意する
- バックは色を塗った方がよい(登場人物を浮かした色を選ぶ)
- 色を塗り終わったら、仕上げにふち取りをする(遠くからでもハッキリと見えるようにするため)



3 演じてみよう

完成したら、みんなの前で演じてみましょう。

先生からのアドバイス

- キャラクターになりきる
- 声の太さ、高低、スピード、大小などをキャラによって変える(たとえば、若い人を演じる時は、早くしゃべる)
- 効果音を工夫する
- お腹から声を出す



紙芝居は「芝居」です。「読む」のではなく「演じ」ましょう。

講座を終えて

今回のスパイラル・セッションでは、ときわ先生から2回にわたり紙芝居の作り方から演じ方までを教えてくださいました。これまでは、読んでもらって楽しむ受け身の立場でとらえていた紙芝居でしたが、実際に自分でつくってみることで、その中には作者が伝えたい思いやたくさんのメッセージが込められていることが分かりました。

学生一人一人と対話をしながら実演や作成のアドバイスをされているときわ先生の姿が印象的で、参加者全員が、瞬間に紙芝居の魅力と独特な世界観に引き込まれました。なかでも「会話ができないとおもしろくない」「紙芝居は言葉のキャッチボール」という言葉のとおり、紙芝居は、決して一方通行ではなく、演じ手と観客とが一体となつてつくり上げていくものだというを実感しました。

お忙しい中、講義をお引き受けくださいましたときわ先生に御礼申し上げます。

先生の本

ときわひろみ著『手づくり紙芝居講座』
JLA図書館実践シリーズ11、日本図書館協会、2009年3月

手づくり紙芝居のつくり方や、紙芝居の歴史、様々な紙芝居の種類、紙芝居と図書館との関係などが紹介されています。この記事を読んだあとに、ぜひ手にとってみましょう。より一層、紙芝居の豊かな世界に触れることができます。



真の紙芝居講座参加者の感想!

ときわ先生の手づくり紙芝居講座に参加した子ども文化コース1年生のみなさんから感想が届きました。オリジナルの紙芝居を作り上げる楽しさや決められた時間の中で製作する苦勞を感じながら、思い思いの工夫を凝らし、こだわりを持ってひとつの作品に仕上げていく。その工程には、制作における重要なポイントがあることに気づいた方も多かったです。

感想 今泉 茜

紙芝居が子どもたちをどんな気持ちにさせるのか、どんな影響があるのかなどを先生がそのときに感じた現場の声を踏まえて聞くことができました。現役の紙芝居作家の方から、教えてもらえる機会はなかなかないので有意義な時間だったと思う。もし教員になったときは子どもたちに紙芝居を作らせてみたいと感じた。

感想 大崎 理咲

考えさせられる紙芝居やクスッと笑ってしまうような紙芝居など多種多様であり、その講座の中で、一番学んだことは「言葉と声の使い方」です。紙芝居はお芝居ということを改めて実感出来ました。子どもの声、大人の声、悲しいときや面白いときなど感情を、声の強弱、高低、間の取り方で表現していました。

感想 加茂 篤思

先生が講座の中で、「紙芝居の中ではなんでもできる」とおっしゃっていたように、紙芝居の中で普段ありえないような現象を扱いながらも、子どもに考えさせるような内容にすることで、子どもの道徳心を育てることもできるといことも学びました。将来教員になった時に、子どもの注意を引く上での一つの手段だと思うので、この経験を活かしていきたいです。

感想 鈴木 美桜

自分で紙芝居を作る際に大切にしたのは、子どもが腹を抱えて笑うのは何かということです。子どもの頃自分は何にわくわくしていたか、何を面白いと思っていたのかを考えることで、視野を広げることができました。

感想 小林 加奈

自分でおもしろいストーリーを考えるのはなかなか難しかったが、思いついた大まかな話の内容から先生が発想を膨らませて素敵な物語を展開させてくださって本当にすごいと思った。日常の中で些細なことにも目を向けていくことは大切だと感じた。

感想 徳差 桃葉

子どもが言うことをきかなくてクラス崩壊したクラスに考えてもらえるような紙芝居を見せたところ、クラスが落ち着いたという。紙芝居には、もしかしたら先生がそのまま叱ったりするよりも、子どもの心に響かせて考えさせる力があるのかもしれない。

感想 長谷川 桃奈

ストーリーの作り方だけでなく、登場する物や人にぴったりの声で話すときわ先生の技術に、終始驚いてばかりでした……。まだ完成していないのですが、自分なりに作り上げた世界にたった一つの紙芝居を、ぜひ発表できる形にしたいと思います。

真の紙芝居を演じよう!

ときわ先生の2回目の講座では、絵コンテまでしか実践できませんでした。その後、ときわ先生のアドバイスのもとに脚本・作画を終え、紙芝居を完成させた学生たちが発表会を行いました。



お気に入りの場面を手にとり、記念撮影

子ども文化コースの4名の学生のみなさんが、紙芝居の実演に挑戦しました。

それぞれ想像力を発揮し、創意工夫を凝らして創り上げた紙芝居を、キャラクターになりきって、巧みに演じました。左より、

- かもあつし作・絵『紙ひこうき世界りょう』
- はせがわももな作・絵『ゆびのはんせいかい』
- いまいずみあかね作・絵『コーちゃんのくつ』
- すずきみお作・絵『ぶらんこすうちゃん』

先生から「手づくり紙芝居は自己表現のアイテムだ！」

手づくり紙芝居の面白さは、物語を考える、絵を描く、演じるを全て作者一人がこなすところにあります。全国の大勢の子どもや大人と手づくり紙芝居講座を続けてきて数十年、たくさんの人の物語世界で共に遊び冒険をしてきました。ゲーム片手に参加する子どもが、いつのまにかゲームを手離して夢中で自分の話を考え、絵を描き、観衆の前で演じ発表する姿は感動的で、作るプロセスと共に紙芝居の力を感じるのです。

デジタルネイティブ世代はオリジナルの物語づくりは苦手といいます。確かに情報を駆使して機械的に物語は作れます。絵も描けます。しかし、それは通りいっぺんの誰もが作れる作品、心に残りません。知識の豊富な皆さん、何時も面白い話をして笑い転がっている皆さん、ネタの缶詰めのような皆さん、日本で生まれた文化・紙芝居を自己表現のアイテムとして作ってみませんか。人心をわしづかみにすること間違いなし。請け合います。



ときわひろみ脚本・画『としよかん だろぼう』
埼玉福祉会、2009年7月



ときわひろみ作・さとうあや絵『よんで よんで』
教育画劇、2011年1月

先生の紙芝居